

# Tokai Fubokon Letter

## 新代表からのご挨拶



### 父母代表 武田 恵里子

昨年、東海中学高校父母懇談会は40周年記念祝賀会を開催しました。その40年の活動が綴られた記念誌『あゆみ』を読んでいると、歴史ある東海中高父母懇談会を引き継いで行く重責を感じます。また、コロナ禍においても父母懇の活動を絶やす事なく様々な行事や講座を企画して下さった先生方や先輩方たちの志を絶やす事なく、私たち父母が楽しく活動する事で、子どもたちが東海生らしく飛躍できるよう努力して参りたいと思います。



東海中高父母懇談会は、その理念の一つである『一人ぼっちの父母をつくらない』という言葉大切に、子どもだけでなく私たち父母も同じ地域から通う方たちと交流ができる独自の地域懇談会を提供しています。

学芸部では、毎年大人気のバスハイクや東海の先生の得意分野を活かした講座など、年に3回程度の文化講座を開催しています。



どの講座も「参加して良かった」と大変好評を頂いており、私たちにとても大切な気づきの場となっています。

またコロナ禍より立ち上がった広報部では、公式ラインや活動報告の配信などネットを活用した活動だけでなく、手作りの壁新聞作成など広い分野で活躍しています。

一年間を通してたくさんの出会いや楽しみ、そして学びの場をご用意しておりますので、多くの皆様にご参加頂き、父母懇活動へのご理解、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

### 教員代表 笠行 裕文

日頃より、父母懇活動および助成金運動にご協力いただきまして誠にありがとうございます。東海中高父母懇談会は1982年11月に、「子ども達の人間らしい成長・発達を支えること」「公費助成をはじめ私学教育の発展の為に努力しあうこと」を目的として発足しました。父母・生徒・教員が手を取り合い、他の私学と協働で教育の場を豊かにする活動を積み重ね、昨年、設立満40周年を迎えました。その節目として、記念祝賀会を開催することができました。長年父母懇のバトンをつないでくださった先輩諸氏のご尽力に、改めて敬意を抱くと同時に深く感謝申し上げます。

東海の地域懇は愛知・岐阜・三重の28地域で開催されておりますが、2020年度から昨年度までコロナ禍で諸活動が制限されるなか、感染防止対策を徹底しながら皆さまに有要な情報と語り合いの機会をお届けできるよう工夫を重ねてまいりました。

そのようななか、コロナ禍による分断に打ち勝とうと父母の皆さまが献身的に活動を繋いでくださ



り、コロナ以前のように多くの参加者が集うことができ、どこの会場でも充実した会となっております。

地域懇を運営されている世話人の皆さまをはじめ、そこに参加して下さる全ての皆さまのおかげで地域懇は充実・発展し、東海の教育はさらに豊かになっていきます。

また、秋の私学助成運動では、例年のように署名運動へのご協力やオータムフェスティバルへのご参加をいただき、誠にありがとうございました。

皆さまのお力添えにより、経常費助成や授業料助成など私学助成は新年度も着実に前進し、恩恵が社会に広がって私学志向の高まりを生んでいます。この成果を未来の世代にもつないでいけるよう、今年も皆さまとともに活動してまいりたいと考えております。



生徒たちの笑顔をいつまでも守り抜き、輝く未来を保障すること、そして、彼らが安心して踏み出すことのできる社会をつくることは、私たち大人の責任であり、切なる願いです。

こうした願いを実現するため、愛知の私学は手を取り合いながら、今までもさまざまな活動をしてきました。そして東海父母懇は、この運動全体を牽引する存在になっています。このような点をご理解いただき、今後とも父母懇活動へのご支援とご協力をよろしく願います。

## 事務局を“卒業”する先輩からの

### メッセージ

#### 東海父母懇丸

井口 藍

4年間の事務局生活は冒険の連続でした。1年目こそ学年や地域を越えた父母や先生方との出会いに心を躍らせたものの、翌年のコロナ禍では広報部という初ミッションを与えられ、父母懇と父母を繋げるために、T.F.Letter や公式 LINE の開設など、不慣れなネット作業に取り組みました。大変で



はありましたが、講演会のまとめやいろんな方へのインタビューを通して、何度も東海の素晴らしさを人一倍肌で感じる役得に恵まれました。

最後に請け負った40周年記念誌「あゆみ」の編集でも、父母懇の歴史や関わった大勢の方の熱い思いを誰よりも感じ、「人の力」というものに感銘を受けました。東海父母懇だからこそできた旅です。

皆さまも東の海の航海をぜひ楽しんでください(笑)

#### 父母懇沼にハマってみた!

山口 あゆみ

3年前コロナ対応の臨時休校中、不意に電話が鳴った。息子が何かした? 考えたら学校はお休みのはず…よくよく聞いてみると、父母懇事務局へのお誘いの電話。「私なんかよりもっと適任の方がいらっしゃるはずです」「いやいや、そういう方にこそ是非ご協力いただきたい」これが繰り返され、遂に根負けした。何もわからない私に何ができるのか…不安しかなかった。よし、まずはやれることからやってみよう! すると、たくさんの仲間ができ、大変なことも楽しくなった。時に私を褒めて成長させてくれた。コロナの思い出しかなかったであろう3年間は私には実り多き時間になった。関係者の皆さんには感謝しかない。



在校生の保護者のみなさ〜ん『東海ライフは子どもだけのものじゃありません、親も楽しまなきゃ! 沼にハマってみるのも悪くない!』声を大にしてお伝えしたい。

#### だれかのために

岩井 圭子

卒業までの2年間、事務局でお世話になりました。この仲間は子どもを介さずに出会い、学年も住んでいるところも様々でみんなが初めましてなのです。そんなメンバーが一つのことを作り



上げていく、それこそが事務局の面白さでした。誰かのために時間をささげて、それを喜びにかえられるそんな仲間です。みなさん個性豊かでスキルが高く、ついでにお笑いレベルも!

役員会や行事に参加するたびに、みんなで協力しながら達成していく感じが部活のようで、自分も息子と同じようにここ東海中高でかけがえのない友人を得ることができました。

この学校で息子たちのためにできること。それは、お母さんたちが自分の人生を楽しむことかもしれません。これからも東海中高父母懇が繁栄していくことを心より祈念しております。

### シリーズ「知りたい!隣の地域懇」

## 瑞穂 新歓 地域懇〈5/27〉

5/27(土)百志館閲覧室にて、瑞穂地域の春の新入生歓迎地域懇談会が開催されました。コロナ対策も緩和され、和やかな雰囲気の中、皆さま笑顔で会話が弾む一方、新入生のお母さま方は初めての地域懇に少し緊張した様子。今回、初めてご夫婦での参加も含め、総勢57名での開催となりました。

ゲスト教員の高橋健先生(高校数学科)、園山雅康先生(高校社会科)は、「思春期の子どもの関わり方」についてお話くださいました。

「中学生の反抗期は当たり前で、悩む必要はない。本来の姿ではなく最後の甘えで、本当は優しい子たち。勉強しないのはおおらかに見守って、成績が落ちてもクラブや自主活動を制限しないで欲しい。中高の6年間は『人生で何を大切にしていけるのか』を考える期間。ゆっくり大きく成長させましょう」と、どちらの先生も優しくユーモアあふれる語り口で話されました。

また、地域担当の太田正和先生(高校情報科)は、私学助成金や2025年度入試科目に加わる「情報」、地域懇の大切さなどについてお話くださいました。

「地域懇でクラブ・自主活動の大切さを繰り返し訴えることで、父母の理解が深まり、子どもたちがのびのびと積極的にクラブ・自主活動に参加するようになり、そこが子どもたちにとって大きな『居場所』になる。その結果、子どもたちの進学・受験へのモチベーションが高まり進学成績も向上していく」というお話を聞

き、先生方はいつも子どもたちのことを考え、温かく見守ってくださっているのだと改めて感じました。

懇談会後には分散会を行いました。学年ごとに分かれ、太田先生、高橋先生、園山先生には順番に各テーブルを回っていただきました。高3のテーブルには、前担当教員の寺田先生(元高校英語科)をお呼びして、受験期の悩みなどをご相談しました。40年以上に渡り多くの東海生や父母と関わった経験豊富な寺田先生のアドバイスは的確で、一人一人の悩みに丁寧に優しく、時には笑いも交えながらお話くださいました。お母様方は聞き漏らさないよう小さく輪になり、前のめりで寺田先生のアドバイスに耳を傾けていらっしやいました。受験生の母親である私としては、悩みはそれぞれ違っても、どのお母様も悩んだり不安に感じたりしていることを知り、自分だけではないのだと安心することができました。

秋の懇談会は4年ぶりにレストランで開催予定です。瑞穂地域は人数が多いためレストラン開催の準備は大変かと思いますが、ご提案くださった幹事学年の皆さまには感謝申し上げます。

今回もお忙しい中ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。これからも瑞穂の地域懇が皆さまの居場所となり、たくさんの方にご参加いただけたら幸いです。



#### 編集後記

T.F.Letter No.37をお読みいただきまして、ありがとうございました!

今年3月に事務局を卒業された先輩方のメッセージは充実感に満ち溢れ、生き生きと輝いています。

事務局2年目。4月から広報部員になり、何をやるにも手探りの状態ですが、みなさんに少しでも私たちの活動を知って頂けたら万々歳です。

最後に、誌面づくりにご協力頂きました皆さま、ありがとうございました。